

令和5年5月1日

当社では、「男女従業員の仕事と生活の調和を応援すること」を経営理念の一つとし、全従業員が安心して仕事に取り組み、その能力を十分に発揮できる職場環境の整備を行う。また子育て世代の雇用を今後も促進し、安心して働き続けることができる企業を目指す。

1、計画期間

令和5年7月1日か令和8年6月30日までの3年間

2、計画内容

目標

子どもの出生時に父親が取得できる配偶者出産休暇制度を設ける(又は日数を拡充する)。

目標達成のための対策

令和5年7月 対象社員の実態調査を行う。(今後出産予定等があるか)

令和5年8月～ 休暇日数など制度の詳細について再度検討する。

令和5年9月～ 見直し後の制度を導入して社員へ周知啓発する。

(継続)

(現在適齢期の従業員なし。今後の若手入職者のために継続する)

目標

計画期間中に育児休業の取得状況を、男性は取得者2人以上、女性は1人以上とする。

目標達成のための対策

令和5年7月～ 育児休業制度に関するパンフレットを作成し社員に配布する。

令和5年7月～ 育児休業制度の理解促進のため、全管理職に対して周知のための研修を行う。

(前年度、対象者なし)

目標

小学生未満の子を持つ社員が、希望する場合に利用できる「短時間勤務制度」を設ける。

目標達成のための対策

令和5年7月 対象社員の実態調査を行う。

令和5年8月～ 制度の詳細について再度検討する。

令和5年9月～ 見直し後の制度を導入して社員へ周知啓発する。

(継続)

(前年度、概ね取得されている)
例)時短労働等

目標

産前産後休業、育児休業に関するパンフレットを作成し、管理職及び従業員に配布し、制度の周知を図る。

目標達成のための対策

令和5年7月 対象社員の実態調査を行う。

令和5年8月～ 制度の詳細について再度検討する。

(継続)

所定外労働を削減する。

目標達成のための対策

令和5年7月 残業状況の実態調査を行う。

令和5年8月～ 個人別にて残業削減に関しての提案を実施する。

(ほぼ実施出来ている)

(今後も継続的に取り組む)

目標

目標 従業員の子どもを含めた地域の子供達の工事現場見学を実施する。

目標達成のための対策

令和5年7月 受入可能な弊社の工事現場及び対象社員の実態調査を行う。

令和5年8月～ 制度の詳細について再度検討する。

令和5年9月～ 現場見学会(近隣中学校)を実施する。

(前年度、未実施 継続)

今年度は近隣中学校より生徒の受入れを依頼中である